

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Uライフ		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児たちの過ごし方を尊重して、安心して生活できる場所になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 利用児たちの行いたいことを尊重しながら支援を行っているため、ルーティンを大事にする利用児が安心して過ごせるようになっている。 個々の利用児に合わせて、過ごしやすい場所(半個室やテント)の提供や、配慮を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びがパターン化しすぎないよう、職員からも遊びの提案をしたり、集団での遊びを行ったりできるようにする。 様々な年齢層に合わせた活動内容や道具を用意していく。
2	ケース検討会議などで活発な意見交流ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 月に1ケース以上はケース検討会議を実施している。 会議前には資料を共有し、しっかりと準備した状態で会議に臨むことができています。 利用児の課題について前向きな案で支援策を考えられる土壌ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ケース検討会議をより多く行えるようにし、利用児の個別課題に応じた支援策を出せるようにしていく。
3	季節に合わせた活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた制作活動を行い、見て模倣する、触って楽しむなど、様々な経験を積めるようにしている。 夏場はプールを実施したり気候の良いときは外出したりして、日常生活ではあまり得られない感覚を活動の中で得られるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団で取り組める活動を企画し、利用児同士の関わりの機会を増やせるようにする。 体を動かせる活動をより充実させられるように企画する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	衛生管理が行き届いていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> 清掃を行う担当者が明確になっていない。 効率的に清掃できる道具が事業所に置かれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当者を分かりやすくする。 事業所の用務員にUライフの衛生管理も併せて依頼したり、同一事業所内のB型とも協力する。 清掃が効率的に行えるように道具を購入する。
2	職員間の情報共有が十分にできていない。	<ul style="list-style-type: none"> 送迎等で出入りがあるため、顔を合わせてコミュニケーションを取れる時間がほとんどない。 サービス提供時間の途中から現場に入る職員がいるため、状況などを十分に把握しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> MTGの回数を増やし、情報共有の場面を増やせるようにする。 その日にあった特記を正確に引き継げるようにするための仕組みを作る。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Uライフ					公表日	2026年2月28日			
					利用児童数	20名				
							回収数	14枚		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			5		事業所の職員数や環境などにおいて、わからないという意見をいただきました。事業所の通信の内容を見直したり、保護者様からの質問コーナーを設けるなどして、よりUライフの状況がわかる工夫をしています。また、見学会の機会などもご提供できればと思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2		4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			4				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		1		職員間の情報共有をより密に図れる仕組みを作り、一貫した支援を提供できるようにしていきます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		3				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		2	10	・望んでいません。	各ご家庭のニーズをお聞きしながら、機会の提供ができればと思っています。休日のご利用の際に、地域の方と交流できる場所へ出かけるなどして、繋がりをつくれるようにしていきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1		10		ニーズ調査をさせていただき、必要に応じて研修会等の情報提供をさせていただきます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	1		1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13			1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	2		1				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	2	7		14と同様に、ニーズ調査をさせていただき、必要に応じて、保護者様同士の交流の機会をつくらせていただきます。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1	1	・大好きな居場所です。	ありがたいお声をありがとうございます。これからもより一層、子どもたちが楽しく、安心して過ごせる場となるようにしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	1	・とても楽しみにしております。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		・諸先生方に感謝しております。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Uライフ		公表日		2026年2月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	2		・日によって職員配置が足りないと思うことがあり、何時に現場に入れるのか分かりづらい。 ・兼務職員が多く、長期休暇期間や急な欠勤で人員が不足することがある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		2	4	・毎日5s活動し、清潔な空間を心がけている。	・送迎車から降りて、部屋までの誘導に、階段等困難な部分がある。 ・現在の利用児への対応はできているが、建物自体はバリアフリーにはなっていない。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		2	5		・毎日は掃除ができていないため、常時清潔は保つことができていない。 ・運動をしようと思うと狭い。 ・リアルタイムでの掃除や消毒には対応しきれていない。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	3	・個室は相談室になっており、いつでも使用できる環境ではない。テントや区切りを作って対応している。 ・個室はないが、特性に合わせて、テント、パーテーションなどで環境設定をしている。	・個別とは言えないが、間接的に仕切っている。 ・動き回る利用者に対して、広いスペースか、区切られている個別の場所があるといい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		3	3		・業務改善のためのPDCAを回す仕組みが確立していない。事故などがあつたときに対応したり、5s・改善活動は行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		・発生した問題については、その都度解決策を導いていると思う。 ・毎月ケース会議を行い、必要に応じて環境整備を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			4		・法人で仕組みを取り入れていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		・言葉でのコミュニケーションが難しい利用児は、普段接する中で、何が好きか、何を求めているかを分析するようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		・毎週金曜日にMTGを行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		4	1		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5	・連絡事項は連絡し、各自送迎等確認はしている。 ・週に一度MTGの機会を設けている。	・全体周知ができていないところがある。 ・個々でのやりとりはしているが、支援開始前に全職員が参加できるMTGがない。 ・職員の兼務や送迎の関係で、子どもがいない時間に集まれる機会が少ない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	・支援終了後の打ち合わせは難しいため、翌日に情報共有をしている。	・個々でのやりとりはしているが、支援開始前に全職員が参加できるMTGがない。 ・送迎に出るため、終了後に振り返りを行うタイミングがない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		・自分の事は自分で、決めることが苦手だと思えば、2択→1択に選べるように促す。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・情報交換はしていると思う。	・相談支援事業所から情報をもらうことが多い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・希望があれば行っている。	・相談支援事業所から情報をもらうことが多い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		・研修等の案内はあるが、参加できていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・職員配置上、外での活動は行えていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		・子どもの協議会（部会）がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳や送迎時の情報共有で行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・もし希望があれば、情報提供はできる。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・保護者同士の交流会は実施できていない。交流会の希望をアンケートすると良い。 ・そういった仕組みがない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		・法人としては地域住民を招待して、祭りを実施している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			・虐待の類型ごとの勉強会を実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				